

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の事業開発を行う APB、豊田通商からの資金調達を実施

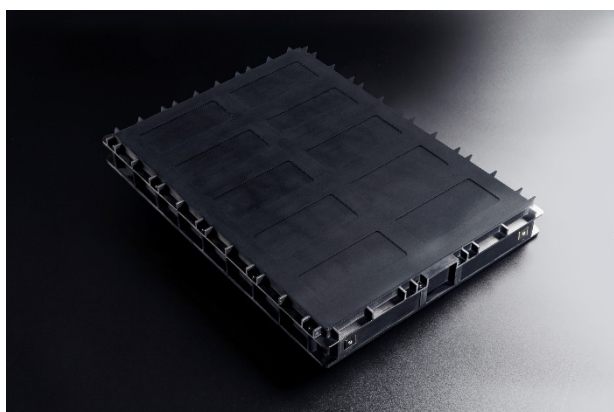
三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：安藤孝夫、以下 三洋化成）は、関係会社で、次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の開発を行う APB 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：堀江英明、以下 APB）が、豊田通商株式会社（本社：愛知県名古屋市、取締役社長：貸谷伊知郎、以下 豊田通商）を引受先とする第三者割当増資により、追加の資金調達を実施いたしますのでお知らせします。

【今回の調達の背景と目的】

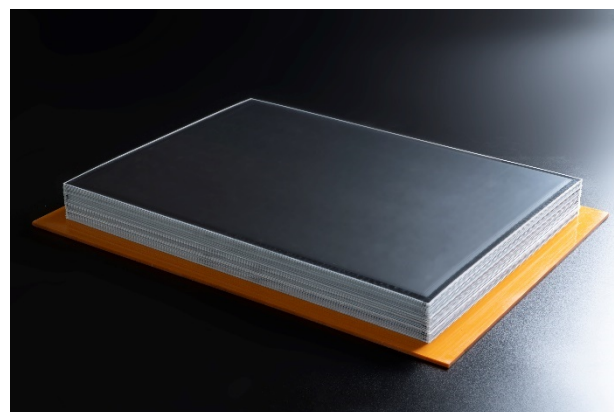
APB は、全樹脂電池(All Polymer Battery)の製造及び販売を行うスタートアップ企業です。全樹脂電池は、活物質に樹脂被覆を行い、樹脂集電体に塗布をすることで電極を形成しています。このような独自の製造プロセスにより、従来のリチウムイオン電池よりも工程を短縮することで、製造コスト・リードタイムの削減を実現するとともに、これまでにない高い異常時信頼性とエネルギー密度を実現しています。部品点数が少なく済むバイポーラ積層型で、樹脂で構成しているため、電極の厚膜化が容易に行え、セルの大型化が可能で形状自由度が高いことも特長です。

今回の資金調達は、2020年3月4日に発表した第三者割当増資と同様、APB が開発する全樹脂電池の量産工場設立を主たる目的としており、全樹脂電池の量産技術の確立、製造販売の開始に向けての投資に充当いたします。また、豊田通商の資本参加により、同社の持つネットワークを活用し、商圏の拡大に寄与できることが期待されます。



全樹脂電池セル サンプル (©APB Corporation)

新開発の全樹脂電池モジュール
(寸法：約 550×400×50mm)



内部構造 (左写真モジュール内部)

40 枚の電池セルをバイポーラ積層し直列に接続

【APB株式会社 会社概要】

設立 : 2018年10月

代表者 : 堀江 英明

事業内容 : リチウムイオン電池の研究開発・製造・販売等

所在地 : 東京都千代田区神田須田町 1-3-9 PMO 神田万世橋 3階

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 メディア・IR部

電話 075-541-4312